



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東
コード番号 8118 URL <https://www.king-group.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島 希吉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理統轄 (氏名) 石井 修二 TEL 03-5434-7282
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,071	2.3	454	4.0	492	5.0	328	5.6
2023年3月期第2四半期	3,977	9.3	436	229.7	468	185.6	311	479.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 625百万円 (159.5%) 2023年3月期第2四半期 241百万円 (432.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	20.25	—
2023年3月期第2四半期	18.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,841	21,434	86.3
2023年3月期	24,608	21,084	85.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 21,434百万円 2023年3月期 21,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,140	8.5	1,140	6.2	1,190	5.3	780	3.2	48.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	24,771,561株	2023年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,551,368株	2023年3月期	8,551,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	16,220,193株	2023年3月期2Q	16,882,307株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、規制緩和による経済活動の正常化が進み、緩やかに回復の兆しが見られましたが、不安定な国際情勢のなか、原材料価格の高騰や円安を背景とした物価の上昇によって消費者の節約志向が高まり、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、旅行やイベント等の外出機会の増加に伴い、一部に個人消費持ち直しの動きが見られましたが、一方で、生活防衛意識の高まりから衣料品に対する消費マインドの低下は継続しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上等・上質＝プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力すると共に、新ブランドの展開や子会社による新たなジャンルにおける商品展開、収益性を重視した諸施策の実施、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化に注力してまいりました。加えて、店頭運営力の更なる向上を図ると共に、固定費を中心とした諸経費の削減や生産管理機能の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は40億71百万円（前年同期比2.3%増加）、営業利益は4億54百万円（前年同期比4.0%増加）、経常利益は4億92百万円（前年同期比5.0%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億28百万円（前年同期比5.6%増加）となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(アパレル事業)

「上等・上質＝プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、新ブランドの展開や子会社による新たなジャンルにおける商品展開、収益性を重視した諸施策の実施、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は32億円（前年同期比0.6%減少）、営業利益は56百万円（前年同期比57.9%減少）となりました。

(テキスタイル事業)

自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指して次世代人材を育成しつつ、既存主力先の深耕化と次期主力先の開発強化および諸経費の削減に取り組むと共に、引き続き「意匠力・提案力・対応力」をベースに企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は3億85百万円（前年同期比6.2%増加）、営業利益は32百万円（前年同期比0.4%減少）となりました。

(エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産の賃貸事業につきましては、引き続き所有資産の更なる有効活用に努めました結果、売上高は4億85百万円（前年同期比22.4%増加）、営業利益は3億69百万円（前年同期比35.2%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は248億41百万円となり、前連結会計年度末比2億33百万円の増加となりました。

流動資産は127億73百万円となり、前連結会計年度末比1億81百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少、並びに商品の増加によるものであります。また、固定資産は120億67百万円となり、前連結会計年度末比4億14百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は34億7百万円となり、前連結会計年度末比1億16百万円の減少となりました。

流動負債の残高は17億75百万円となり、前連結会計年度末比2億61百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等と賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債は16億31百万円となり、前連結会計年度末比1億45百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は214億34百万円となり、前連結会計年度末比3億49百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、86.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度に比べ、2億63百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の残高は104億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1億80百万円増加（前年同四半期は4億40百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上と法人税等の支払による支出等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1億68百万円減少（前年同四半期は1億99百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、2億75百万円減少（前年同四半期は7億68百万円減少）となりました。これは、配当金の支払による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想通りに推移しており、現時点においては、2023年5月8日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,669	10,406
受取手形及び売掛金	824	769
商品	1,299	1,412
原材料及び貯蔵品	26	38
その他	139	149
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	12,955	12,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,361	2,326
土地	6,480	6,480
その他(純額)	221	234
有形固定資産合計	9,064	9,041
無形固定資産	195	180
投資その他の資産		
投資有価証券	1,632	2,066
長期貸付金	1	2
繰延税金資産	18	47
差入保証金	525	515
その他	229	229
貸倒引当金	△13	△14
投資その他の資産合計	2,393	2,846
固定資産合計	11,653	12,067
資産合計	24,608	24,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	594	624
有償支給に係る負債	64	41
短期借入金	380	380
未払法人税等	334	175
賞与引当金	175	129
役員賞与引当金	20	10
その他	468	415
流動負債合計	2,037	1,775
固定負債		
長期借入金	100	100
繰延税金負債	58	220
長期未払金	166	166
退職給付に係る負債	159	164
資産除去債務	128	128
長期預り保証金	873	851
固定負債合計	1,486	1,631
負債合計	3,523	3,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	13,212	13,264
自己株式	△3,204	△3,204
株主資本合計	20,481	20,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	593	893
退職給付に係る調整累計額	9	6
その他の包括利益累計額合計	603	900
純資産合計	21,084	21,434
負債純資産合計	24,608	24,841

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,977	4,071
売上原価	1,751	1,719
売上総利益	2,226	2,351
販売費及び一般管理費	1,789	1,897
営業利益	436	454
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	23	28
仕入割引	5	4
貸倒引当金戻入額	0	1
その他	4	4
営業外収益合計	34	40
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	2	1
経常利益	468	492
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	466	490
法人税、住民税及び事業税	132	161
法人税等調整額	22	0
法人税等合計	155	161
四半期純利益	311	328
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	328
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	299
退職給付に係る調整額	△1	△2
その他の包括利益合計	△70	296
四半期包括利益	241	625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	625
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	466	490
減価償却費	204	207
その他の償却額	2	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41	△46
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	0
受取利息及び受取配当金	△24	△29
支払利息	1	1
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	2	2
売上債権の増減額(△は増加)	80	55
棚卸資産の増減額(△は増加)	△72	△125
仕入債務の増減額(△は減少)	△59	29
その他	18	△74
小計	568	501
利息及び配当金の受取額	24	29
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△151	△348
営業活動によるキャッシュ・フロー	440	180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△208	△145
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△20	△26
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	—	△2
貸付金の回収による収入	0	1
差入保証金の差入による支出	△20	△16
差入保証金の回収による収入	50	26
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50	—
自己株式の取得による支出	△559	—
配当金の支払額	△158	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△768	△275
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△527	△263
現金及び現金同等物の期首残高	10,478	10,669
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,950	10,406

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月9日 取締役会	普通株式	158	9	2022年3月31日	2022年6月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2022年5月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,058,100株の取得を行いました。この結
果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が559百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において
自己株式が3,025百万円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月8日 取締役会	普通株式	275	17	2023年3月31日	2023年6月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,218	362	396	3,977	—	3,977
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5	9	—	14	△14	—
計	3,223	371	396	3,992	△14	3,977
セグメント利益	135	32	273	440	△3	436

(注) 1. セグメント利益の調整額△3百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,200	385	485	4,071	—	4,071
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7	7	—	14	△14	—
計	3,207	392	485	4,085	△14	4,071
セグメント利益	56	32	369	458	△4	454

(注) 1. セグメント利益の調整額△4百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。